

厚生労働科学研究費補助金（労働安全衛生総合研究事業）

分担研究報告書

労働災害防止対策の推進とESG投資の活用に資する調査研究

**健康経営優良法人認定企業（中小規模法人部門）における情報開示の現状**

研究協力者 藤本 亜弓 産業医科大学産業生態科学研究所産業保健経営学

研究分担者 永田 昌子 産業医科大学産業生態科学研究所産業保健経営学 学内講師

研究分担者 森 晃爾 産業医科大学産業生態科学研究所産業保健経営学 教授

研究代表者 永田 智久 産業医科大学産業生態科学研究所産業保健経営学 准教授

研究要旨：

本研究では、Environmental, Social and Governance (ESG)、Sustainable Development Goals (SDGs) の観点から、健康経営優良法人認定企業（中小規模法人部門）が、ホームページ上で安全衛生、健康施策について良好な情報開示をおこなっている企業の実態を明らかにすることを目的とした。

2020年度健康経営優良法人（中小規模法人部門）に認定された4816法人のうち、2382法人のホームページを2020年度に調査した（調査結果は2020年度報告書で報告済み）。この調査の過程で、特に情報開示が良好であると調査者が判断した企業2社（豚座建設株式会社、株式会社CPS）の担当者にインタビュー調査を行った。

情報開示内容では、健康の取組みをSDGsの目標と関連付けて提示する等、工夫がみられた。健康施策へ取組むきっかけは、経営者の思いやメンタルヘルス不調者が続いた等、様々であった。情報開示における工夫では、わかりやすい表現をする、絵文字や写真を利用する、ページをカラフルにする等がみられた。取組みや情報発信の効果では、ホームページやSNSへの反応やコメントが増加している等の社外の反応とともに、社内では健康意識があがることが実感されていた。このような良好事例を共有することにより、積極的に情報開示を行う企業が増加することが期待される。

## A. 目的

本研究では、Environmental, Social and Governance (ESG)、Sustainable Development Goals (SDGs) の観点から、健康経営優良法人認定企業（中小規模法人部門）が、ホームページ上で安全衛生、健康施策について良好な情報開示をおこなっている企業の実態を明らかにすることを目的とした。

## B. 方法

調査対象：2020年度健康経営優良法人（中小規模法人部門）に認定された4816法人のうち、2382法人のホームページを2020年度に調査した（調査結果は2020年度報告書で報告済み）。本調査の過程で、特に情報開示が良好であると調査者が判断した企業2社（豚座建設株式会社、株式会社CPS）の担当者にインタビュー調査を行った。調査内容は、「情報開示内容」「健康施策へ取組むきっかけ」「情報開示における工夫」「取組みや情報発信の効果」である。

## C. 結果

### ・豚座建設株式会社(建設業/高知県)

#### 情報開示内容；

「3つの健康」と題し、「地域も会社も社員・家族も健康に！」というスローガンが大きく掲載され、健康施策への取組みに関する重要性が明示されている。具体的な健康施策の内容としては、例えば、

従業員の運動機会増加を目的とした、卓球台やランニングマシンの設置や、従業員の生活習慣病予防を目的とした、自販機飲料水におけるカロリー表記などが写真付きで紹介されている。また、SDGsに積極的に取り組んでいることも明記されており、会社に取り組むべき課題とSDGsの17の目標が関連付け、表記されていることも特徴的である。例えば、上記の健康施策については、目標3「働きやすい職場環境づくり」のイラストとともに表記されている。各種取組みは、ホームページ上からアクセス可能なソーシャルネットワークワーキングサービス(以下SNS)からも、写真や動画付きで頻繁に情報発信されている。

#### 健康施策へ取組むきっかけ；

社長の「地域も会社も社員・家族も健康に！」という強い理念の元、従来より健康づくり担当者を配置し、様々な健康施策に取り組んでいた。2019年度より健康経営、SDGsの観点を強く意識しはじめたが、これらは各々、保険会社、ISO9001審査員から勧められたことがきっかけであった。

#### 情報開示における工夫；

健康経営やSDGsを意識しはじめたことで、外部にわかりやすく伝えることを重要視するようになった。例えば、社長の「地域も会社も社員・家族も健康に！」という理念を、よりキャッチーに、かつ、わかりやすく説明するために、「3つの健

康」というメッセージを考案することで、効果的な情報開示を心がけた。

#### **取組みや情報発信の効果；**

ホームページやSNSへの反応やコメントが増加している。

#### **・株式会社CPS(学術研究、専門・技術サービス業/東京都)：**

##### **情報開示内容；**

「健康経営の取組み」と題し、様々な健康施策が紹介されている。例えば、メンタルヘルス対策を目的として、労働者数が50人未満でありながらストレスチェックを毎年自主的に実施していることや、禁煙推進を目的として、採用条件に「非喫煙者であること」という条件を追加し、さらに就業規則に就業時間中の禁煙を明記したことを掲載している。さらに、ワークライフバランスの推進を目的として、月平均所定外労働時間や有休休暇取得率について明記している。

取組みは、様々なSNSからも情報発信され、直近では、新型コロナウイルスワクチンの3回目の職域接種を、1回目、2回目と同様に、対象者を社員の家族や友人まで広げて行ったことが写真付きで紹介されている。

##### **健康施策へ取組むきっかけ；**

2017年度より開始した新入社員採用にて、メンタルヘルス事例が発生したことが、取組みに力を入れるきっかけとなった。健康施策に関する積極的な情報開示

を行うことで、「IT企業はブラック企業である。」といった従来のイメージを払拭し、リクルーティングを進めたいと考えている。

##### **情報開示における工夫；**

情報発信の目的の1つとしてリクルーティングがあるため、若手社員にアドバイスをもらい、絵文字や写真を利用したり、ページをカラフルにするなど、多くの方に読んでもらえるような工夫をしている。リクルーティングに繋がるよう、出来る限り社風や働き方、オフィスの雰囲気や伝わるように意識している。ただし、写真を引用する際は、個人情報の保護の観点より、社員の顔が特定されないように留意している。

##### **健康施策を実施する際の工夫；**

定期的に生活習慣や健康意識に関するアンケートを実施し、従業員の興味が湧くような施策立案に繋げている。また、施策実施後においてもアンケートを実施し、施策内容の改善を図っている。施策活動への意識が低い社員に関しては、個々に参加を促し、地道にアプローチするようにしている。

##### **取組みや情報発信の効果；**

ウォーキング大会などの運動イベントを開催することで、運動習慣がなかった従業員が運動を開始するきっかけとなっていると感じる。また、採用説明会において、健康経営への取組んでいる会社であるとアピールできるようになった。

#### D. 考察

情報開示内容では、健康の取組みをSDGsの目標と関連付けて提示する等、工夫がみられた。健康施策へ取組むきっかけは、経営者の思いやメンタルヘルス不調者が続いた等、様々であった。情報開示における工夫では、わかりやすい表現をする、絵文字や写真を利用する、ページをカラフルにする等がみられた。取組みや情報発信の効果では、ホームページやSNSへの反応やコメントが増加している等の社外の反応とともに、社内では健康意識があがることが実感されていた。

#### E. 結論

中小企業のなかでも情報発信に工夫をこらして行っている企業では、社内外において良好な効果を実感していた。このような良好事例を共有することにより、積極的に情報開示を行う企業が増加することが期待される。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

なし

##### 2. 学会発表

なし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

#### I. 引用・参考文献

なし